

16-19

平成 28 年 7 月 28 日

～ 障がいのある個々のお客様に対する福祉用具最適マッチングによる「移動の自由」の実現を目指して ～  
 神奈川トヨタ & トヨタレンタリース神奈川、  
 「ヨコハマ・ヒューマン & テクノランド 2016」に出展

(株)KTグループ傘下の神奈川トヨタ自動車(株)(社長:市川英治、本社:横浜市神奈川区)および同グループの(株)トヨタレンタリース神奈川(社長:尾崎千登志 本社:横浜市神奈川区)は、7月29・30日の両日、「社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団」の主催によりパシフィコ横浜展示ホールDで行なわれる「《ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド 2016》」に、トヨタ製福祉車両(ウェルキャブ)2台及び、トヨタ車体(株)製超小型EV(電気自動車)「コムス」、(株)セリオ製電動カート「遊歩スマイル」を出展する。また、当社で車イス収納クレーン(KIVI社製)を後付け装着された、障がいをお持ちのお客様(山本洋子様)に、ご自身の車(2014年製トヨタ・シエンタ)を会場に出展いただくとともに、山本様本人が車イス⇄車の移乗を実演し、現在では、カーライフを楽しみ「移動の自由」を獲得するまでの経緯についてお話しいただく。

さらなる超高齢社会の進展により福祉車両ニーズが高まるなか、神奈川トヨタは、トヨタ製福祉車両「ウェルキャブシリーズ」を推販、さらに「ウェルキャブ」仕様ではカバーしきれない状況に対応するべく、個々の障がいの状況にマッチングした車載用福祉用具(架装)を取り揃えご提案を行なうことで、個々のお客様のカーライフにおけるADL(日常生活動作)とQOL(生活の質)の向上、「移動の自由」の実現にむけ、取り組んでいる。

今回、ご協力いただく山本様は、下肢マヒの障がいがあり、電動車イス(重量約30kg)を普段の足にされている。はじめはご使用中のシエンタは車室後部(トランク部)に「車イス収納リフト」を取付け、運転装置は「手動式」に改造されていた。一昨年(2014年)のヨッテクで、当社ブースでミニバンの3列あるシート2列目(運転席のすぐ後ろの席)を車イス収納クレーン(KIVI社製)仕様になった展示車をご覧になり、この製品を装着すれば、車イス⇄車の一連の移乗動作(車イスを車に収納→運転席に移乗→運転→再び車イスを社外に降し車イスに移乗)が容易となり単独で行なえる(今までは他人の手を借りる必要があった)ことがわかり、当社と「車イス収納クレーン(KIVI社製)」を装備する契約をされた(トランクのリフトは外した)。

この架装により、下肢マヒ者でも、車イス⇄車の一連の動作が一人で容易に行なえ、「移動の自由」「アクティブライフ」が大きく広がる経験をされた。今回の経験を機に、同じ状況にある障がい者の皆さんに的確な福祉用具の選択が「移動の自由」に道を開くということを知ってほしい、との強いご意向から、当社の出展にご協力いただくこととなった。

## 記

■イベント名称： ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド 2016

日時 7月29日(金)～30日(土) 各日 10時～17時

会場 パシフィコ横浜 展示ホールD

展示車両 ・エスクァイア/車イス仕様スロープタイプ ・ラクティス/車イス仕様スロープタイプ  
 ・超小型EVコムス手動運転装置仕様 ・電動カート「遊歩スマイル」 各1台

◎ 山本洋子様による、ご自身の福祉仕様選び経験と、「移動の自由」向上についてのご説明は両日とも、午前11時30分及び午後2時から、約30分程度を予定しております。